

## 第1 基本方針

天草地域の農業は、海岸島しょの温暖な気候を活かして、早期水稻、かんきつ類、野菜、花きを組み合わせた複合経営が営まれている。

かんきつ類では、不知火系統（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンなどを主体とした中晩柑類が特産品として定着しているが、近年「不知火」のこはん症発生が問題となっており、その要因解明と発生軽減技術の開発が早急に求められている。また、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が期待されている。

野菜では、露地でレタス、施設ではミニトマト、キュウリ、スナップエンドウなどが栽培されており、早期水稻の後作として、インゲン、カボチャなども栽培されている。

しかし、構造的に経営規模が小さく、過疎化や農業従事者の高齢化、加えて近年は干ばつや台風などの気象災害などが頻発し、一戸あたりの生産農業所得は低い状況にある。

このため、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、適応作物や品種の選定、生産安定、品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

## 第2 重要研究事項

### 1 野菜部門

#### (1) 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

秋作スイートコーンは、温暖な気候を利用して取り組みやすいが、ボリューム、品質、病害虫対策が必要とされるため、高収益へ向けた栽培技術を確立する。春作は、一部で栽培しているものの、出荷時期が遅く、価格は安い。このため、温暖な気候を利用して、できるだけ品質が良く、省力的に生産可能な早期出荷栽培技術を構築する。

ミニトマトについては、天草地域の基幹品目として従来から栽培されているが、収量性や品質などが不安定であり、十分な収益が確保できているとは言えない。そこで、収量や品質が向上するよう、群落内光の効率的利用を目指し、光合成量が増加するような整枝や下葉の管理等栽培技術の確立を行い、冬期のハウス内への炭酸ガス使用方法を確立する。

### 2 果樹部門

#### (1) 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定

亜熱帯果樹として有望なライチ及び近年注目されているアボカドについて、天草地域に適した品種の選定と連年安定生産を目指し、隔年結果是正及び着果安定の技術を確立する。また、ビワでは、寒害に強い高品質な品種適応性の検討を行う。

#### (2) 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

地域特産果樹である「河内晩柑」において、ヒリュウ台「河内晩柑」の連年安定生産のための着果管理技術と夏期出荷のための長期貯蔵技術を確立する。

露地栽培不知火類では、高品質で連年安定生産・出荷が可能となるように、「肥の豊」の着果管理技術やこはん症発生軽減技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
野菜	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草地域における所得の向上を目指した野菜栽培技術の確立	532	県単	① 収益性が高い春・秋スイートコーン栽培技術の確立	H27～H29
		(2) トマト類における群落内光の効率的利用を目指した基礎的要因の解析(再掲)	1,101	県単	① 群落における日射量と光合成能力の解明 ② 栽培条件の差異が光合成能力に及ぼす影響の解明 [天草農業研究所、農産園芸研究所]	H27～H29 H27～H29
果樹	1. 多彩なくまもと農業の魅力発信できる新品種の開発・選定	<b>新規</b> (1) 亜熱帯果樹の優良品種の選定および連年安定生産技術の開発	1,430	県単	① ライチの優良品種の検討 ② ライチの着花・着果安定技術の確立 ③ アボカドの優良品種の検討	H28～H30 H28～H30 H28～H30
		(2) 天草特産果樹の品種選定と栽培技術の確立	413	県単	① 国・県育成系統の適応性検定 ② カンキツ・ビワの生育状況・収量予測	H8～継続 H26～継続
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草を元気にする特産果樹の生産安定技術の確立	1,017	県単	① ヒリュウ台利用中晩柑の安定生産技術の確立 ② 露地栽培不知火系統の高品質生産技術の確立 ③ 「河内晩柑」の夏期出荷のための生産・貯蔵技術の開発	H27～H28 H27～H28 H27～H28
		<b>組換</b> (2) 「不知火」における貯蔵中のこはん症発生軽減技術の確立(再掲)	771	県単	① こはん症発生要因の解明 [天草農業研究所、果樹研究所] ② こはん症発生軽減技術の確立 [天草農業研究所、果樹研究所]	H27～H28 H27～H29
		<b>組換</b> (3) カンキツ「不知火」等のこはん症軽減対策技術および着花安定技術の確立(再掲) (暖地における果樹の安定生産技術および温暖化緩和技術の開発)	400	外部資金	① こはん症発生園の実態把握 [天草農業研究所、果樹研究所] ② 土壌乾燥と樹上におけるこはん症発生との関連解明 [天草農業研究所、果樹研究所] ③ 施肥方法及び水管理方法によるこはん症発生軽減技術の確立 [果樹研究所]	H27～H28 H27～H29 H28～H30

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

**組替**：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長**：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮**：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題